



リアブレーキトルクロッド 組付・取扱説明書

組付対象機種
V-MAX

本品は、スタンダードのトルクロッドよりも全長が約55mm長くなっています。お客様の
キャリパー形状に合わせた長さ、角度のブレーキホース（市販品）を別途お買い求めください。

工数：0.2h

はじめに

◇お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明しております。性能を充分発揮し、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

◇販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

▲警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示しております。

▲注意 取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示しております。



ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

構成部品

No.	品名	部品番号	数量	備考
①	リアブレーキトルクロッド		1	

取付方法

▲警告

走行直後は、マフラーが非常に熱くなっています。ヤケドを防ぐため、マフラーが充分に冷えた後で作業を行ってください。

※ブレーキホースは、他部品への巻き込みやねじれ、張り過ぎがないかを充分確認して取り回してください。

▲注意

必ずメインスタンドを立てて作業を行ってください。

- 1.スタンダード車のリアアクスル締付ボルト、リアアクスルナットを緩め、テンションバーを取り外します。
- 2.リアブレーキトルクロッド①を、スタンダードのボルト、ナットを使用して取り付けます。

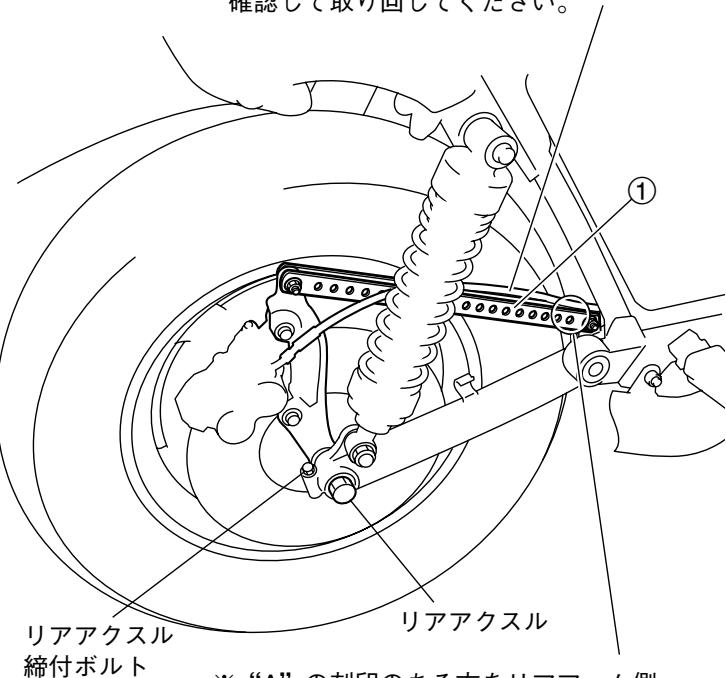
▲注意

- リアブレーキトルクロッドは、必ず“A”の刻印がある側をリアアーム側（車体前側）にして組み付けてください。
- リアブレーキホースは、リアブレーキトルクロッドやリアホイール廻りの部品に巻き込んだり、ねじれや無理な力がかかるないよう充分注意して取り回してください。
- ボルト、ナットはサービスマニュアルを参照し、規定値のトルクで締め付けてください。

- 3.リアアクスルナット、リアアクスル締付ボルトを規定のトルクで締め付けます。

▲注意

- リアアクスルナットのコッターピンは必ず新品を使用してください。
- 取り付け後、各部品に緩みやガタつきがないかを充分に確認してください。またボルト、ナット類は定期的に増し締めを行ってください。



※ “A”の刻印のある方をリアアーム側（車体前側）にして組み付けてください。